

ドゥマンジュ恭子

ドゥマンジュ
きょうこ

都政に新しい風を! 都議会にはもっと女性の議席が必要です

- 新型コロナ 給付型所得保障で命と生活を守る
- 子どもが真ん中! 若者が希望をもてるまちへ
- 医療崩壊を止める! 保健所機能と職員の拡充を
- 多様性が社会を強くする! ジェンダー平等を達成する
- 水害対策、避難所の感染症対策を徹底する
- 都議会改革! 必要なのは働く議会・働く議員



<https://doumenge.seikatsusha.me>

特集号

ドゥマンジュ恭子 わくわく会議レポート No.4 2020年6月5日
■発行 ドゥマンジュ恭子とわくわく会議 / 調布・生活者ネットワーク / 狛江・生活者ネットワーク ■発行責任者 八木昭子 〒182-0022 東京都調布市国領町 8-1-13 TEL・FAX 042-487-3087 E-mail waku2seikatasha@mpd.biglobe.ne.jp URL <https://doumenge.seikatsusha.me/>

都議補選 [調布市・狛江市] 東京・生活者ネットワーク ドゥマンジュ恭子 都政にチャレンジ!



●ともに活動しています——左から、生活者ネットワークの、木下やすこ調布市議会議員、都議補選候補予定者で都政担当政策委員のドゥマンジュ恭子、山内れい子東京都議会議員、まつざき淑子狛江市議会議員

命と暮らしを守る●ドゥマンジュ恭子さんを応援します

中川李枝子 児童文学作家

ドゥマンジュ恭子さんは、普通の日常を通して、真剣に考え、懸命に学び、地道に行動する、まさに生活者ネットワークの実力ある一員です。東京都民一老・若・子ども一人一人の命の安全と安心、全世界の平和を守るという大きなお役目に最もふさわしい女性であると私は信頼と期待をこめて応援します。

佐藤かおり

女性と人権全国ネットワーク共同代表

私は、長くDVや性暴力被害者の支援に関わってきました。性に基づく暴力は、男女の不均衡な関係から生み出された構造的な暴力です。ドゥマンジュ恭子さんには、ジェンダーの視点に立ち、暴力や貧困など複合的な困難を抱えた女性や子どもの声をすくい上げ、だれもが生きやすい暮らしを実現するために、ぜひ、活躍していただきたいと思っています。

杉田 敦 法政大学教授

都政に新しい風を。長引く不況に加えてパンデミックの蔓延などにより、都民は苦しい生活を強いられています。こうした中で、生活に根ざし、生活の中に政治の課題を見つける生活者ネットの力が求められています。

堀 利和 視覚障害者・元参議院議員

障害者基本法第一条(目的)には「全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現……」とあります。この理念を生活の場に! そのための政治。生活者ネットワークのドゥマンジュ恭子さんに期待します。

山田 真 八王子中央診療所 小児科医

2011年の大震災と原発事故、そして2020年のコロナ大流行。危機に際してこの国では弱者を切り捨てる政治が行われます。このような政治に対して市民がとりわけ女性が声を上げなくてはなりません。ドゥマンジュ恭子さんに期待をかけます。

天笠 啓祐 ジャーナリスト

伊藤 久雄 認定NPO法人まちぼつと理事

植田 泉 東京CPB(コミュニティパワーバンク)理事長

工藤 春代 NPO法人市民シンクタンクひと・まち社代表理事

近藤恵津子 NPO法人コミュニティスクール・まちデザイン理事長

竹村 英明 脱原発政治連盟「緑茶会」代表

坪郷 實 早稲田大学名誉教授

豊泉 惣子 在宅福祉サービスNPO理事長

南部 義典 シンクタンク「国民投票広報機構」代表 / 元慶應義塾大学講師

福嶋 浩彦 中央学院大学教授 / 元我孫子市長

保坂 公人 神田川ネットワーク代表

増田 和美 消費者団体役員

三木由希子 NPO法人情報公開クリアリングハウス

山田 和夫 池袋あさやけベーカリー店主

和田安希代 東京ワークース・コレクティブ協同組合理事長

山内れい子 東京・生活者ネットワーク都議会議員

安部たかね 元調布市議会議員

八木あきこ 元調布市議会議員

佐々木貴子 元狛江市議会議員

池座 俊子 元狛江市議会議員

二宮ようこ 前調布市議会議員

山本あき子 前狛江市議会議員

木下やすこ 調布市議会議員

まつざき淑子 狛江市議会議員

●東京・生活者ネットワーク ドゥマンジュ恭子の活動を紹介します。



●7月5日は東京都議会議員補欠選挙の投票日です(期日前投票は6月27日~7月4日)。

都政に新しい風を！ ドゥマンジュ恭子の提案

急がれる災害避難所の感染症対策と保健所の機能強化！

5月25日、政府は新型コロナウイルス緊急事態宣言を全面解除しました。しかしウイルスの挙動を封じ込めたわけではなく、そもそも初動に遅れをとった政府、東京都はもとより、自治体、医療機関ともこの間の対応から教訓をくみとり第2波、第3波に備えねばなりません。また諸外国に比べPCR検査数が少ない実態を踏まえ、PCR／抗原・抗体検査の促進、かかりつけ医と病院との連携で医療崩壊を未然に防ぐ対策が重要です。

感染症発生時に重要となるのが保健所ですが、特に多摩地域でその数を減らし、保健師も職員も縮小され続けてきました。ウイルスの大敵はヒトの免疫力にある事実に基づき、地域保健や公衆衛生を司る保健所の機能強化を求めています。

災害時避難所での感染症対策も課題です。公共施設や体育館などに詰め込まれる現状では、感染防止は絶望的です。相互に距離が取れ換気が考慮されねばならず、保健師などの常駐も求められます。梅雨や台風シーズンは待ったなし！ 水害対策とともに、東京都や自治体の防災計画に感染症防止策を盛り込むことが急務です。近年の猛暑や台風被害の甚大さを見ても、気候変動問題は東京がいま直面している現実の危機であるといえます。気候危機対策を一刻も早く講じることが大都市東京に課せられた責務です。

ウィズ・コロナ／アフター・コロナを生きる 子どもが真ん中！命と暮らしを優先する社会へ

緊急事態宣言が解除され、経済活動が動き出したかには見えますが、約2カ月にわたる自粛要請により、弱い立場にある高齢・障がい者、女性、子ども・若者が生活困窮に見舞われています。特に母子家庭の困窮が著しく、休業で収入が減る一方で家計支出が増加したとの声が多くあり、状況は深刻を極めています。背景には、雇用の男女間格差や非正規雇用の処遇の低さ、加えて社会保障制度の不備が明らかです。

コロナ禍は、学校等の給食が一日の主な栄養源になっている子どもがいる事実も浮き彫りにすることになりました。各地の子ども食堂やフードバンクが連携する「こどもフードパントリー」が、必要とする子ども家庭に弁当やレトルト食品などを提供する取り組みも行われてきました。しかし民間の力に頼るだけでなく、政府や東京都、自治体行政が子ども家庭の窮状や子どもの実態を把握し、休校中の食の提供や現金給付、低所得のひとり親世帯に支給される児童扶養手当の増額や、なにより子ども家庭と支援策をつなぐための相談窓口の充実が必要不可欠です。

全国一斉学校休業で開始した政府の新型コロナ対策。いま改めて子どもの成長を支える学校給食政策の重要性が問われています。こうした中、緊急対策として、実施期間は異なりますが、各地で給食費無償化の実施が発表されており、狛江市でも、小中学校の1学期間の給食が無償で提供されることになりました。食べることは生きること——コロナ禍を機に、学びの一環でもある学校給食の完全無償化を視野に、基礎自治体と東京都が連携して協議を始めるべきです。ドゥマンジュ恭子は、貧困や格差、障がいなどにかかわらず、子ども・若者が共に、等しく学べる環境整備のために、学校教育の完全無償化の実現をめざします。



パンデミックの最中「理性の声」を発したのは女性リーダーたち 多様な価値が生かされる ジェンダー平等を達成したい！

ドゥマンジュ恭子 profile ■1957函館市生まれ。北海道立函館西高校卒業 ■93～95狛江市に転居後、市の公民館講座「女の暮らしと教育」参加を機に自主グループを立ち上げ活動 ■95調布市に転居。食の安全、環境保全を求めて生活クラブ生協で活動 ■97共に投資し、共に働く「ワーカース・コレクティブ クイーンズ」に参加、安全で信頼の食を提供。後に理事 ■99～2004小中学校PTA役員 ■07～15調布市議会議員を2期務める。総務委員会、調布飛行場等対策特別委員会など ■07～15東京・生活者ネットワーク子ども部会メンバー (09～12 部会長) ■16～東京・生活者ネットワーク政策委員 (19～都政担当) ●子育てネットkonokono、野川流域連絡会、若者の再出発を支えるネットなどで活動 ●整体師、健康管理士 ●家族：夫(フランス人 在日34年)、娘、息子 調布市在住



以前の調布市深大寺自然公園での生き物調査。早くこんな日常に戻ってきますように

東京・生活者ネットワーク／都議補選2020 ドゥマンジュ恭子の提案

■新型コロナウイルス／給付型所得保障で命と生活を守る

●PCR／抗原・抗体検査の促進を ●医療崩壊を止める！保健所の機能強化と職員体制の拡充を ●災害避難所の感染症対策を徹底する ●虐待・DVリスクに対応する ●学生への就学支援、社会的弱者の居住支援、低所得ひとり親家庭への児童扶養手当を増額する

■子どものいまを大切に！
東京都子どもの権利条約をつくる

●学校給食費の完全無償化を実現する ●虐待をなくす！子どもの声をきく相談体制をつくる ●保育の質と量を確保する ●プレーパークに子ども食堂！子どもの居場所をふやす ●障がいがあっても共に学び育つインクルーシブ教育へ ●経済格差に影響されない子どもの学びと育ちを保障する ●都独自の給付型奨学金を充実させる！

■東京からジェンダー平等を達成する
多様性が社会を強くする！多文化共生を前へ！

●職場・地域・家庭で男女平等を実現する ●セクハラ・DV・性暴力をなくす ●LGBTQへの理解を深め、当事者が暮らしやすい社会をつくる ●あらゆる意思決定の場で女性比率3割を実現！

■災害に負けないまち調布・狛江へ
生活基盤を強くする！災害対策は市民参加で

●水害を想定した避難所設置や雨水対策を ●生活圏を活かした災害対応ができる広域連携を都のリードでつくる ●避難所運営に女性の視点を活かす

■食の安全を確保する
種子法廃止に対抗する！東京都に種子条例を

●都食品安全条例を活用する ●給食への地場野菜導入で食の安全と都市農業を守る ●遺伝子組み換え・ゲノム編集などの食品表示を徹底する

■人権を大事にする福祉優先社会へ
セーフティネットが機能するまちを実現する

●仕事や子育て・介護の両立をたすけるケアラー支援を進める ●在宅医療と訪問介護・看護の充実で高齢者に安心の暮らしを ●移動の権利を保障するバリアフリーのまちへ

■環境優先！多摩のみどりを守る
再エネ・省エネで脱原発・温暖化を防止する

●再生可能エネルギーの拡大でエネルギー自立都市東京へ ●建造物のZEB化(ゼロ・エネルギービル)を進め、エネルギー創出と省エネを進める ●市民電力を応援しエネルギーの地産地消を促進する

■東京に「カジノ」は
いらない！
文化芸術の力で人をつなぐ TOKYOへ

■市民の参加で都政
を変えよう
都議会を改革する！必要なのははたらく議員

- 生活者ネットワークのルール●
- 1 議員は交代制(ローテーション)
 - 2 議員報酬は市民の政治活動資金に
 - 3 選挙はカンパとボランティアで